

賀光会 みんな楽しみバーベキュー!

7月1日、賀光会の一大イベントのバーベキューを実施しました。昨年は雨もようでしたが、今年は日差しがきつく、夏らしい天候になりました。バーベキューの準備には、今回も多くの利用者の方に協力して頂きスムーズに準備する事が出来ました。

テントや机、コンロの準備が完了し、いよいよバーベキューの開始です。炭で火をおこし、焼き網を設置し、肉と野菜を焼き始めました。肉の焼けるにおいが辺りに漂ってくる、利用者の方も待ちきれないといった様子でした。

お肉類は、ロース、バラ、ハラミ、ミノ、テッチャン、ウインナーなどを焼きました。また、野菜のメニューとして、野菜炒めとじゃがバターを作りました。野菜炒めは、元中華料理屋の料理人だったM支援員がスーパで購入した人参、

きずな

平成28年 第48号
 社会福祉法人 賀光会
 救護施設 賀光寮
 障害福祉サービス事業所
 (生活介護) ポプラ
 発行人：川端 健高
 藤井寺市藤井寺4-11-8
 TEL 072-955-0653
 FAX 072-955-0905
 E-mail: gakoukai@m5.kcn.ne.jp
 http://www5.kcn.ne.jp/~gakoukai

もやし、しいたけ、キャベツ、ピーマン、えりんぎ、まいたけと賀光寮農園芸科が丹精込めて育てた玉ねぎを使って野菜炒めを作りました。じゃがバターは、賀光寮農園芸科が育てたじゃがいもをひとつ一つ濡らしたキッチンペーパーとアルミホイルで包み、ホクホクのじゃがバターに仕上げました。一人当たり200g用意したお肉は、あつという間になくなり、みなさんのお腹がふくれていました。

支援員 岸 瑞記

利用者さんからの声

Aさん

・お肉の種類が多くそれぞれの味を楽しみむことができた。

Bさん

・農園芸科で育てた野菜が新鮮でおいしく食べられました。



【平成28年度 賀光寮 事業計画 骨子】

賀光寮は救護施設への種別変更後7年目となります。

現在、社会福祉法人の地域貢献が社会から求められ、賀光寮の施設福祉サービスも、今後は入所利用者だけでなく在宅の生活保護受給者や施設退所者も含め、地域の生活困窮者への支援に貢献することが求められています。

昨年度は生活困窮者自立支援法が施行され、地域の生活困窮者について支援が必要となつてまいりました。

また、運営方針に基づいて安心できるサービスを安定的に提供するとともに、社会ニーズに応えるため、一昨年度から実施している居宅生活訓練事業及び、昨年度から実施している保護施設通所事業を継続していきます。中間的就労等の生活困窮者自立支援法に関する事業について実施してまいります。

また大阪府社会福祉協議会の「大阪しあわせネットワーク」の生計困難者支援及び地域福祉に貢献してまいります。

〈運営方針〉

- I 総合的な福祉サービスの提供
- II 法令遵守
- III 専門性の向上
- IV 経営の安定・透明化
- V 地域共生と啓発



【平成27年度賀光寮事業報告骨子】

平成27年度は運営方針「①総合的福祉サービスの提供」「②法令遵守」「③専門性の向上」「④経営の安定・透明化」「⑤地域共生と啓発」に基づき、障害者施設としての長年の経験と救護施設としての実績を生かし、利用者へサービスを実施してまいりました。具体的な内容としては、以下のとおりです。

利用者の個別支援計画に基づき、本人の意向を重視し、作業や通院、入浴、清掃、買い物、外出などの支援をしました。また、生活相談、作業療法、地域移行支援、レクリエーションなどのプログラムにより効果的に支援しました。

賀友会(利用者自治会)の定例会議を毎月開催し、行事の実施や食事、健康管理、生活などの課題や要望などについて話し合い、利用者の意見を行事などに反映してまいりました。また、食事に関しては、給食委員会において、利用者の意見を取り入れ、季節を感じ、美味しく食事をしていただけるようイベント食などを実施し、献立に変化をつけました。

レクリエーションとしては、4月に花見を「万博公園」と「梅小路公園」の2コースに分かれて実施し、また、11月から12月に日帰り旅行として「和歌山マリーナシティ」と「箕面温泉」「かに道楽」の3コースに分かれて実施しました。11月に実施の救護施設合同文化事業では、参加を希望された利用者が合唱の発表を行いました。その他誕生会と年忘れ会等を実施し

ました。

災害対策として、6月には昼間の火災を想定した避難訓練を消防署の立ち会いの上で実施しました。9月には大阪88万人避難訓練に合わせ地震想定で実施し、簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検をし、また備蓄食料の賞味期限の確認と非常食の炊き出し訓練を行いました。

健康管理の支援では、11月にインフルエンザ予防接種、9月と3月に健康診断、9月に歯科検診を行いました。また、感染症対応、そして利用者の通院・受診支援と服薬管理支援を行いました。

平成27年度の利用状況は、7人入所され、10人退所されました。7人の入所のうち2人は地域で緊急の入所が必要な方が、一時入所を利用されました。居宅生活訓練事業は3人の方が利用され、1人が3月31日をもって訓練を終了し、地域で生活されることになりました。現在は、保護施設通所事業に参加されています。居宅生活訓練事業に参加された3人の利用者のうち2人の利用者は、地域生活するうえで課題があるため訓練を延長されました。地域交流としては、賀光会、バザール、もちつき大会、南藤井寺ふれあいまつり、陶芸教室を実施し、その折に、年間延べ55人のボランティアを受け入れました。また、介護等体験として神戸親和女子大学から5人、大阪大学20人を受け入れました。

【平成28年度ポプラ事業計画 骨子】

障害者総合支援法による指定生活介護事業所「ポプラ」は、種別変更後、7年目になります。

平成28年度は、法人の理念、基本方針に基づき、利用者の個性を尊重し、利用者や職員それぞれが自分自身を磨き、一人ひとりが輝き潤いのある生活を実現できるよう、日中活動の充実と安定した経営を第一の課題として、質の高いサービス提供と事業運営に努めてまいります。

また、賀光寮と協働して、中間的就労等の生活困窮者自立支援法に関する事業について実施してまいります。

大阪府社会福祉協議会の「大阪しあわせネットワーク」の生計困難者支援及び地域福祉に貢献してまいります。

〈運営方針〉

- I 総合的な福祉サービスの提供
- II 喜びを実感できる生活の実現
- III 安心、安全な支援と管理
- IV 専門性の向上
- V 経営の安定・透明化
- VI 地域共生と啓発



【平成27年度ポプラ事業報告 骨子】

平成27年度は、運営方針「①総合的福祉サービスの提供」「②喜びを実感できる生活の実現」「③安心・安産な支援と管理」「④専門性の向上」「⑤経営の安定・透明化」「⑥地域共生と啓発」に基づき、利用者の個性を尊重し、一人ひとり輝き潤いのある生活の実現をめざして、安全・安心・安定した質の高いサービスの提供と利用定員の充足を図り、より安定した経営を課題として事業運営に努めてまいりました。具体的な内容としては、以下のとおりです。

利用者の同意を得た個別支援計画で支援を行いました。また生産活動、創作活動、クラブ活動、社会体験、作業療法、生活相談などは「ひまわりの会(利用者自治会)」での意見や個別の意向を尊重し、支援を行いました。

利用者・保護者・職員の交流を図るため、保護者会を3回実施しました。

送迎では、平成27年度に、新たに、5人の利用者が自宅から事業所までの送迎を希望され、その対応を行いました。

災害対策として6月には、火災を想定とした避難訓練を消防署の立ち会いの上で行いました。9月には、大阪880万人避難訓練にあわせて地震を想定した避難訓練を実施し、防災機器の点検をし、備蓄食料の賞味期限の確認と非常食の炊き出し訓練を行いました。



社会体験では、春に、スーパーマーケット探検・古墳見学を行い、秋には、大阪歴史博物館の見学を行いました。また余暇活動(レクリエーション)では、藤井寺市民体育館で開催された事業所(藤井寺市内の7事業所)対抗運動会に参加しました。

健康管理の支援では、9月に歯科検診、11月にインフルエンザ予防接種、2月、3月に健康診断を行いました。

平成27年度の利用状況は、4月に3人、1月、3月に各1人が入所され8月、2月に各1人が退所されました。また、支援学校等から見学や体験実習を受入れました。

地域交流として、賀光会バザールやもちつき大会、陶芸クラブを実施し、その折に、ボランティアを延べ130人受入れました。その他、西浦支援学校から体験実習の受け入れ、四天王寺大学からは、介護等体験の実習生を受入れ、藤井寺市立第三中学校の生徒の職場体験の受入れを行いました。

【平成27年度 社会福祉法人 賀光会 決算報告】

貸借対照表

(平成28年3月31日)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	61,944	流動負債	10,888
現金預金	45,266	事業未払金	9,721
事業未収金	15,893	預り金	33
貯蔵品	92	職員預り金	103
立替金	543	前受金	1,031
前払金	148	固定負債	5,960
仮払金	2	退職給付引当金	5,960
固定資産	361,035		
基本財産	190,409		
土地	4,470		
建物	165,939		
定期預金	20,000		
その他の固定資産	170,626	負債の部合計	16,848
建物	1,241		
建物附属設備	14,388	純資産の部	
建築物	2,130	基本金	113,971
車両運搬具	3,943	国庫補助金等特別積立金	119,656
器具及び備品	11,598	その他の積立金	131,000
権利	467	次期繰越活動増減差額	41,504
ソフトウェア	91		
退職共済預け金	5,695		
人件費積立資産	29,500		
施設整備等積立資産	101,500		
その他の固定資産	73	純資産の部合計	406,131
資産の部合計	422,979	負債及び純資産の部合計	422,979

資金収支計算書

自平成27年4月1日
至平成28年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額
事業活動収入計	204,462
事業活動支出計	185,894
事業活動資金収支差額	18,568
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	6,601
施設整備等資金収支差額	△6,601
その他の活動収入計	248
その他の活動支出計	11,957
その他の活動資金収支差額	△11,709
当期資金収支差額合計	258
前期末支払資金残高	50,799
当期末支払資金残高	51,057

事業活動計算書

自平成27年4月1日
至平成28年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額
サービス活動収益計	201,746
サービス活動費用計	193,269
サービス活動増減差額	8,477
サービス活動外収益計	2,716
サービス活動外費用計	777
サービス活動外増減差額	1,939
経常増減差額	10,416
特別収益計	0
特別費用計	0
特別増減差額	0
当期活動増減差額	10,416
前期繰越活動増減差額	42,088
当期未繰越活動増減差額	52,504
基本金取崩額	0
その他積立金取崩額	0
その他積立金積立額	11,000
次期繰越活動増減差額	41,504